

ともかわさきパラアートニュース

第7号 令和2年11月発行

ともかわさきパラアート活動

社会福祉法人ともかわさきが、地域における公益的な取組みとして始めたパラアート活動も多くのご賛同とご協力をいただき、少しずつではありますが軌道に乗せることができてまいりました。「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」、「パラアート絵画活動 in ひらま」や「パラアート活用事業」などこれらパラアート活動を通して障害福祉への地域の輪を広げていきたいと願っています。

<アートパラ深川で賞をいただきました>

障がいのある人たちが創り出すアートの魅力を世界へ発信する全国障がい者アート公募展第1回アートパラ深川大賞に「ひらま」から応募したところ、特別審査員の林真理子さんから「みんなが大賞」をいただきました。

応募入選作品を展示する「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」は、アートを江東区深川の街全体に解放して、一般の人に障がいのある人たちのアートの素晴らしさや福祉施設のものづくりを伝える芸術祭です。「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」活動に通ずるところがありますね。



<第2回アトリエひらま withFLAT開催します>

「パラアート絵画活動 in ひらま」障がいのあるなしに関わらずアート活動で地域と交流を行うインクルーシブ絵画教室、前回（10月3日）の教室が参加者・関係者ともに好評でしたので、好評の絵画教室を再び企画開催することになりました。

今回は12月5日（土）に開催します。

<パラアート・ミーティングに参加>

川崎市文化財団が主催する「障がいのある方のアート作品と著作権の勉強会」に参加しました。ともかわさきのパラアート活動を広める為にもアート作者の著作権と正しく向き合わなくてはなりません。特に知的障害者の福祉を担う社会福祉法人として著作権保護を考えます。

<かつてにリラックスひらまに参加>

川崎市が主催する「かつてにリラックスひらま」が11月7日（土）なかはら障害福祉施設ひらまの前庭で開催されました。ともかわさきパラアートでは、開催にあわせてパラアート絵画作品の展示をいたしました。



来場者は100人を超え、当日は開所日でもあり利用者の皆さんや近隣の方々が焼き芋、糸電話、プラレール、ロコモチェックそしてステージを楽しんでいただいた様子でした。

ステージには幸高校のダンス部、NECダンス、オカリナ演奏、ネパールの笛、大道芸、シャボン玉など多彩な皆さんが近隣から出演をいただいていたいました。



パラアート絵画も多くの来場者の皆さんに見ていただくことができました。普段観ることの無い方々に観ていただける機会となったようです。ただ、担当者が席にいない時間の方が皆さんゆっくり作品をご覧になっていたようなのです。んー難しい。

初めての試みでしたが、これからもこのような展示も行っていきたいと思えます。

感染症対策の中、関係者や近隣から多くの来場者が

<パラアート活用事業の成果物がまもなく>

ともかわさき事業所から募集したパラアート・イラストを活用したマスクケースが、まもなく完成します。神奈川県・横浜市・川崎市の信用保証協会様からパラアートを活用したノベルティグッズとしてともかわさきに製作のご依頼をいただいたものです。

応募いただいたイラストの中から2作品のデザインを使用したマスクケースを製作中です。神奈川県内で多くの皆さんにパラアート活動が知られることにつながれば嬉しく思います。